

# 紙の広場



高浜カツ氏



森島春男氏

## 厚生大臣表彰 (母子保健功労) 森島春男氏と高浜カツ氏に

市内小中学校の校医でみなさんにおなじみの、森島小児科医院院長医学博士森島春男氏と、母子健康センター嘱託の助産婦高浜カツさんが母子保健功労で、このほど

厚生大臣表彰を受けられました。

森島氏は、明治四十年三月二十五日生まれで、とし七十歳。昭和二十三年から、日光で小児科医院を開業。そのかたわら、日本小児科学会名誉会員、日本小児科学会県地方会会長、県小児保健会

長、県警察医会会長、県法医談話会会長など数多くの公職を務められ、当市の医療行政には、多大な貢献をされています。  
(花石町一八三三)

高浜氏は、明治四十二年三月二十二日生まれで、とし六十八歳。昭和七年から日光で助産婦を開業。熱意と実行力をもって母子保健に取り組み、現在は、今市地区助産婦会会長、市家族計画指導員民生委員、心配ごと相談員として活躍されています。  
(相生町一七六)

### 県政訪問施設見学

### 参加者募集

六月二十日に「あなたの県政訪問」を行ったところ、大変好評でしたので、とし二回目の「あなたの県政訪問」を、コースを変えて次により行います。今までに、この行事に参加した方でもけっこうです。ふるってご参加ください。

一 (宇都宮市) ↓ 窯業指導所 (益子町) ↓ 水産試験所 (宇都宮市)

- ① 参加資格 日光市民
- ② 募集人員 五十名 (申し込み順に定員で締め切ります)
- ③ 見学する施設 消費生活センター
- ④ 参加費用 無料
- ⑤ 日時 九月八日 (木) 午前九時
- ⑥ 日光市役所出発 ↓ 午後五時日光市役所帰着予定
- ⑦ 申込方法 官製はがき、または電話でも可
- ⑧ 申込受付期間 八月十日 ↓ 八月二十日まで
- ⑨ 申込先 総務課文書広報係 (☎ 411-1111 内線三三)
- ⑩ その他 参加者は昼食・ノート・筆記用具などを持参ください。詳細については、参加申し込み者に通知します。

## 「あなたの県政訪問」 施設見学会に参加して (投稿)

久次良町 河内ハマ

梅雨空の下、少々肌寒い日光市から、バスで南へ五十余分。宇都宮中央卸売市場を見学。新鮮で安い魚・果物・野菜に驚かされる。今晚のおかずにと、触手がむずかる。消費者に渡るまでのルートが、感覚を通して理解できる。とにかく規模が大きく、衛生的であった。

驚くほど安く、新鮮なもの、目の前にあるのに、直接買えず、残念という思いを残して、さらに南へ。小山市福原にある紬(つむぎ)織物指導所を見学。織物の背景にある結城家、女の歴史。心を込めて織りあげられた郷土の紬は、本当に素晴らしい。結城家により、幕府に献上され、結城紬となり、今日に伝えられているという話を、ため息まじりで伺う。農家の女たちが、嫁や姑という立場のわずらわしさから逃れ、自分の「女」としての気持を、紬に織り込めたのだろう。一反の紬が織りあがるまでの「時」を思わずにはいられなかった。織つてみたいという気持と、それには、

少々年をとり過ぎてしまったという感想だった。主婦として、最も考える「食」の卸売市場と、文学的「衣」の紬指導所。栃木弁の説明も楽しく、昼食のあと、一路自治医科大学へ。

全国都道府県のための医師養成の大学。その付属病院ということである。医療体制に、特別関心を持つこともない日常。しかし、もしもの時を思うと、県内に、これほどの病院があることは、喜ばしい。恵まれない地域のための医師養成が、建学の志という。きっと良いお医者さんが育つことだろう。

政治が、どのような形で、私達の生活の中に投影されているか、特に感じることは少ない。魚の値上りは感じても、自治医科大学のようなものはない。今日三方所見学しただけでも、日ごろの不勉強ぶりが反省される。メモ片手の一日社会科勉強は、実に快よい刺戟であった。(紙面の都合で、原文を約三分の一に縮めました。||編集部)